

## 携帯電話で胎児心音を録音し、育児サポート

乳児のストレスを解消し安眠を促すという胎児心音。録音機会が少ない心音を誰でも手軽に扱えるよう考案されたのが、「聴診器音声モバイル録音・送信システム」だ。開発したのは「音のエキスパート企業」であるハッピーリス。

聴診器から聞こえる生体や物体内部の音を、同社が独自開発した集音器「ケアレコ」により携帯電話へ録音(東京都大田区から技術開発支援)。この音声データを添

付ファイルとしてメール送信することで、活用するというものだ。

もともとハッピーリスは音楽制作や製品開発、ポイストレーニングなど教育事業を展開。音声加工・復元技術のノウハウを元に商品化した「胎児心音オリジナル音楽CD」が人気で、このCDの制作フローを改善する中から同システムが生まれた。

同CDは、個々の赤ちゃんの心音を音源とする受注製品。産婦人科検診時に専

### >>> DATA

業種	音楽制作、企画販売
活用分野	音声データの遠隔利用
テクノロジー	携帯電話周辺機器、音声データ



代表取締役吉田理恵氏

用装置で録音された胎児の心音を胎教音楽とミックスして作成される。出産前の心音が必要だが、早産などにより胎児心音を録音で

きないといったケースが発生した。「定期検診を待たずに録音できる安価な方法はないか」と模索する中で、広く普及している携帯電話で録音した音声データを同社サーバへ送信してもらうアイデアが浮かんだという。

今回開発したシステムを胎児心音の録音のみならず様々な場面で活用することで、さらに世の中に貢献していきたいとのことである。

### 「聴診器音声モバイル録音・送信システム」イメージ図

産婦人科で録音しなくても、自宅で手軽に胎児心音を録音できる

(胎児心音が聴診器で聞こえやすくなるのは妊娠35週以降)

